

# さあ 適応しよう！

## 健康

こまめな水分補給、日差し対策などの熱中症予防対策を行おう！  
水たまりを作らない、虫除けをするなど蚊の対策を行おう！



## 防災

県や市町村が出している防災情報（ハザードマップや避難経路）を事前に確認しよう！



未来のことではなく、今から始めよう！

「適応」のことをもっと知りたい…  
自分たちに何ができるか知りたい…

神奈川県気候変動適応センターでは、気候変動の影響や適応に関する情報を発信しています!!

神奈川県気候変動適応センター（神奈川県環境科学センター）  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/tekiou/top.html>



# 気候変動への

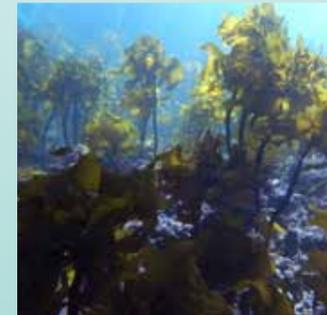
# 適応

気候変動\*の影響はもう出ています!!

\*気候変動：地球温暖化などにより、気温が上昇することや雨の降り方が変わること等。

## 例えば、県の近くの海では…

比較的暖かい海に生息する魚類等により、磯場の海藻が無くなる「磯焼け」\*が起こっています。



海の温暖化

(写真：神奈川県水産技術センター)

\*磯焼け：もともと海藻が繁茂していた磯場において、藻食性生物による食害や栄養塩分の不足などの要因によって、海藻類がほぼなくなった状態。

将来、地球温暖化が進むと  
もっと大きな影響に!!

## 気候変動適応って何？

避けられない気候変動の影響に対応すること！  
地球温暖化を防止する「緩和」とあわせて、「適応」にもしっかり取り組むことで、将来も安全・安心に暮らすことができます!!



気候変動問題





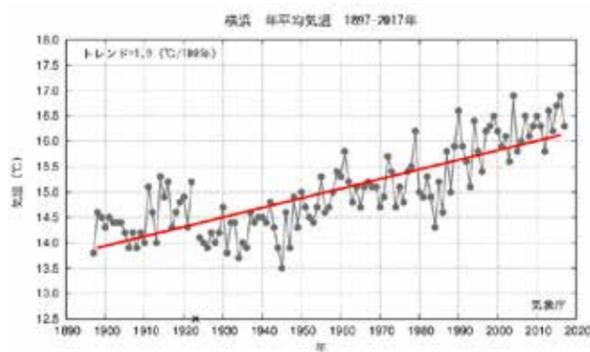
# 現在と将来 気温、降水量

# 分野ごとの影響 健康、防災など

## 気温

横浜の平均気温は 100 年あたり 1.9℃上昇

### 神奈川県（横浜）における年平均気温の変化



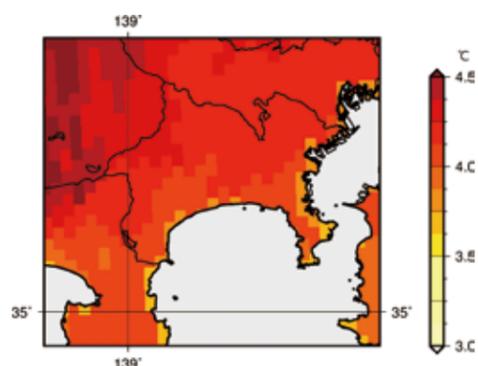
(グラフ：気候変動適応情報プラットフォームHPより)

地球温暖化対策を取らないと将来は…

神奈川県（横浜）の平均気温は 100 年後に約 4℃上昇  
→種子島と同じくらいに！\*

※現在の年平均気温の平年値 横浜 15.8℃、種子島 19.6℃

### 年平均気温の将来予測変化の分布図



(出典：横浜地方気象台「神奈川県の21世紀末の気候」)



また、猛暑日\*が  
40日(約1か月半)も  
増加する

※日最高気温 35℃以上



## 健康

平成30年の夏は熱中症による救急搬送者数が4,000人超 → 将来気温が上昇することで熱中症のリスクが高まる！

### 県内の熱中症による救急搬送者数



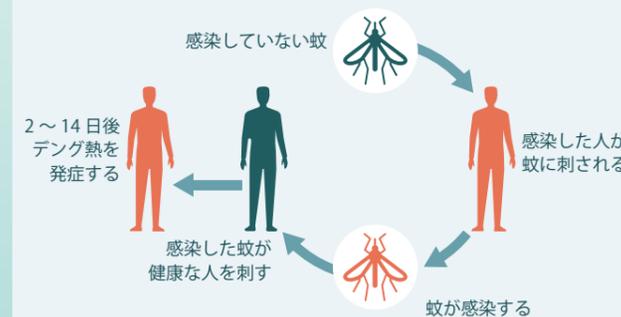
(出典：消防庁ホームページ資料)



気温の上昇により蚊の生息範囲が広がる → デング熱等の感染症リスクが高まる！



### デング熱は、蚊を介して感染します



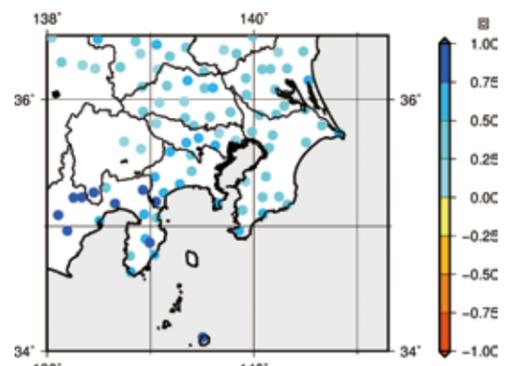
## 降水量

近年、大雨の頻度が増えてきている。  
地球温暖化対策を取らないと将来は、  
滝のように降る雨\*が増える一方、  
全く雨が降らない日の頻度も増える！



神奈川県では滝のように  
降る雨の発生が  
100年で2倍になる！！

### 滝のように降る雨の年間回数の将来変化の分布図



(出典：横浜地方気象台「神奈川県の21世紀末の気候」)

※滝のように降る雨：  
1時間の降水量 50mm 以上

## 防災

大雨の頻度が増えることで、河川の氾濫や洪水の  
リスクが高まる！



## その他

農産物の品質悪化や、交通インフラなどにも影響  
がでる！

